
男会議

tanaka

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

男会議

【Nコード】

N4267K

【作者名】

t a n a k a

【あらすじ】

思春期真っ盛りの男達の秘密の会議の模様。

とある学校の一つの教室に複数の男達が集まっていた。

教室の中は暗く近くに居ないと他の人間を確認する事が出来ない。その暗い教室の中一人の男が何かを確認するように声を出す。

「さて、そろそろ会議を始めたいと思うのだがいいだろうか？」

その声を聞いた他の男達は一様に頷く。

「では会議を始めよう」

今ここに男達の秘密の会合が始まる。

「まずは何か報告がある者はいるか？」

この場を仕切っていると思わしき男が他のメンバーに問いかける。その問いかけに対して一人の男が声を出す。

「確実な情報とは言えないが新たなパンチラスポットが発見されたらしい」

究極の情報と共にレポートを提出する。

「なんだと……」

その男の報告に場が騒然とする。

彼らにとって新たなパンチラスポットの発見というのは学生生活において、とても

重要な事なのである。その重要なスポットが発見されたとあれば黙っている事など

出来ないだろう。

「静粛に！ 静粛にするんだ！」

男が声を荒げる。騒然としている男達を静めるように……

「一つ聞きたいんだが、まだ確実な情報では無いとはどういう事なんだ？」

落ち着きを取り戻した他の男が質問をする。

「それは……」

質問を受けた男が少しだけ喋るのを躊躇する。

しかし、自分から発言した手前言わないわけにもいかず理由を喋る。

「ただ情報を手にいれただけで確認をしていないんだ」

酷く申し訳なさそうに答える。

「何故……何故確認をしていなんだ！」

男が吠える。

それもそのはず、もしこの情報が嘘の情報だとすれば、驚き感動した自分達の心が報われないからだ。

そんな事は耐えられない。そんなのは味わいたくない。だから男は吠える。

自分達の心を守るために。

「すまない……言い訳をするわけではないが、時間が無かったんだ……」

沈痛な面持ちで男が謝る。

その言葉を聞いて他のメンバーが黙る。

男達も気付いてしまったから。

この男が本気で反省をしているという事を。

本当に彼には確認をする時間が無かったのだらうという事を。

そして、彼は他のメンバー達の事を想って発言したのだという事を。

「ふむ。彼も我々のために想って発言したんだから皆も許してやろう」

彼の言葉に他の全員が頷く。

そして、その後は何件か各々報告をしていく。

「では、彼からの貴重な情報が手に入った事だし今日の会議はこれにて終了としよう。そして次の会議までに各自この情報の真偽の確認と新しい情報の収集をたのむ」

男の言葉に全員が席を立ち教室から出ていく。
こうして今回の男達の秘密の会議が終わった。
自分達の欲望と夢を守るため今日も男達は駆け抜ける。
ただ愚直にエロスを求めて……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4267k/>

男会議

2011年1月15日21時50分発行